2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　ＭＲＫホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　9980　　ＵＲＬ　https://www.mrkholdings.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）岡本　雅文
問合せ先責任者　（役職名）副社長執行役員 経営管理本部長　　（氏名）中　研悟　　ＴＥＬ　06-7655-5000

半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	10,534	0.2	493	339.6	616	74.7	389	79.4
2026年３月期中間期	10,510	4.9	112	310.5	352	219.2	217	－

（注）包括利益　2027年３月期中間期　379百万円（43.9%）　2026年３月期中間期　263百万円（－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	4.20	－
2026年３月期中間期	2.20	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	20,017	15,022	75.0
2026年３月期	19,696	15,306	77.7

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　15,022百万円　2026年３月期　15,306百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	1.00	1.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	1.00	1.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	6.0	2,000	244.8	2,100	117.3	1,300	39.8	13.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	101,295,071株	2026年３月期	101,295,071株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	10,504,303株	2026年３月期	4,762,573株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	92,815,863株	2026年３月期中間期	98,757,402株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．４「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（セグメント情報等の注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 12
（継続企業の前提に関する注記） …… 12

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当社グループは、「なりたい自分になるためのきっかけとソリューションを提供する」というブランド価値のもと、お客様の心と身体の美と健康を追求し、お客様の様々なライフステージにおいて高品質な商品と最高のサービスを幅広く提供するべく、補整下着の販売を中心に、化粧品や健康関連商品、マタニティ及びベビー関連商品を販売するとともに、婚礼・宴会関連事業や美容関連事業などを展開し、魅力ある商品・サービスの拡充を推進しております。

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用情勢の改善や賃上げの広がりを背景に、個人消費の持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調で推移しました。一方、資源価格の高止まりや為替相場の変動などの影響により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。また、小売業界におきましては、継続的な物価上昇などを背景に消費者の節約志向が続くなか、業種・業態を超えた厳しい競争環境が続いております。

主力事業である婦人下着及びその関連事業においては、新規顧客の獲得が伸び悩んだものの、2026年10月に実施した主力商品の値上げを前に駆け込み需要が生じ、既存顧客による購入件数が増加したことから、売上高は増収となりました。

また、利益面においては、売上高の増収に加え、収益性向上を方針とした店舗網再構築による固定費圧縮に加え、AI活用を含むDX推進や採用の最適化による生産性向上、広告宣伝費をはじめとした全社的な経費の最適化を推進した結果、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益はいずれも前年同期から増益となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高105億34百万円（前年同期比0.2％増）、営業利益４億93百万円（前年同期比339.6％増）、経常利益６億16百万円（前年同期比74.7％増）、親会社株主に帰属する中間純利益３億89百万円（前年同期比79.4％増）と、前年同期比で増収増益となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの概要は次のとおりであります。

［婦人下着及びその関連事業］

婦人下着及びその関連事業においては、補整下着の販売及びコスメや健康食品などの美や健康に関連する商品の販売をしております。

当中間連結会計期間におきましては、基幹商品シリーズの新定番色として2026年６月に「エターヴェリーピンク」を発売したほか、同年８月には新色「イデラチャコールグレー」を数量限定で発売し好評を得るなど、補整下着の販売は堅調に推移いたしました。

また、2026年10月に実施した主力商品の値上げを前に生じた駆け込み需要もあり、リピート購入売上高は前年同期比103.7％となりました。

さらに、新たなカテゴリー商品としてデイリーシーンで活躍する「WRAPTOP （ラップトップ）リブタンク」を発売するとともに、スポーツシーン向けの「m-fit（エムフィット）」シリーズにおいてアイテムを追加しリニューアルするなど、商品ラインアップの拡充を図りました。

販売面においては、店舗網再構築により店舗数及び販売社員数が減少したものの、教育研修の充実や営業活動の効率化を推進した結果、販売社員一人当たりの売上高が向上いたしました。

利益面においては、店舗網再構築による固定費圧縮及び販管費の最適化を推進した結果、収益構造の改善が進み、営業利益は前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は93億44百万円（前年同期比0.4％増）、セグメント利益は５億57百万円（前年同期比164.5％増）となりました。

［マタニティ及びベビー関連事業］

マタニティ及びベビー関連事業においては、マタニティ及びベビー向けのアパレルや雑貨の販売をしております。

当中間連結会計期間において、国内の出生数が依然として低水準で推移するなど厳しい事業環境が続く中、マタニティインナーを中心とした主力商品の販売に注力いたしました。特に、「助産院監修シリーズ」は各種ECモールにおいて高い評価を獲得し、ブランド認知度の向上に寄与いたしました。

一方で、マタニティウェアにおいて、前期に実施した在庫圧縮に伴う割引販売の反動により、売上高は減収となりました。しかしながら、粗利率の高い商品・サービスが堅調に推移したことに加え、広告宣伝費をはじめとした販管費の最適化を推進した結果、収益構造の改善が進展し、セグメント利益は黒字化を達成いたしました。

以上の結果、売上高は４億89百万円（前年同期比2.7％減）、セグメント利益は11百万円（前年同期は６百万円のセグメント損失）となりました。

［婚礼・宴会関連事業］

婚礼・宴会関連事業においては、結婚式場の運営やカフェ・レストランなどの、飲食事業の運営をしておりま

す。

当中間連結会計期間において、「GRAND FESTA HAKATA（グランフェスタ博多）」（福岡市・2024年７月グランドオープン）の認知度向上に伴い、集客及び成約は堅調に推移し、施設利用の拡大につながりました。

また、法人宴会需要の取り込みに加え、直接雇用の拡大による運営体制の強化を進めた結果、店舗運営効率が向上し、収益改善が進展いたしました。

以上の結果、売上高は４億32百万円（前年同期比0.8％減）、セグメント損失は56百万円（前年同期は71百万円のセグメント損失）となりました。

［その他］

その他においては、美容室などの、美容関連事業の運営をしております。

当中間連結会計期間においては、スタイリストの採用環境が厳しい中、採用遅れによる人員の減少に伴い、役務売上が減少したことから、売上高は減収となりました。

一方で、店販商品の販売は堅調に推移いたしました。また、中長期的な成長基盤の構築を目指し、スタイリストの採用・育成及び集客力の強化に向けた先行投資を継続するとともに、収益性向上に向けた店舗網の見直しを推進いたしました。

以上の結果、売上高は２億82百万円（前年同期比3.3％減）、セグメント損失は21百万円（前年同期は22百万円のセグメント損失）となりました。

※上記、各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は137億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億34百万円増加いたしました。これは主に、売掛金の増加、関係会社短期貸付金の減少、現金及び預金の減少の結果によるものであります。

（固定資産）

当中間連結会計期間末における固定資産は62億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億85百万円増加いたしました。これは主に、無形固定資産の増加の結果によるものであります。

（流動負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は44億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ６億27百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金の増加、未払法人税等の増加及び買掛金の減少、1年内返済予定の長期借入金の減少の結果によるものであります。

（固定負債）

当中間連結会計期間末における固定負債は５億７百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円減少いたしました。これは主に、リース債務の減少、資産除去債務の減少の結果によるものであります。

（純 資 産）

当中間連結会計期間末における純資産は150億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億84百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上による利益剰余金の増加及び自己株式の取得による減少の結果によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は20億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ、３億59百万円減少いたしました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、減少した資金は13億80百万円（前年同期は11億37百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益の計上６億13百万円、未払費用の増加３億26百万円、利息の受取額91百万円等による資金の増加、売上債権の増加16億84百万円、仕入債務の減少５億31百万円及び未払金の減少93百万円等による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、増加した資金は９億68百万円（前年同期は７億81百万円の減少）となりました。これは主に、関係会社貸付金の回収による収入14億円、貸付金の回収による収入３億50百万円等による資金の増加、貸付けによる支出３億50百万円、無形固定資産の取得による支出２億29百万円及び関係会社貸付けによる支出１億50百万円等による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は51百万円（前年同期は８億９百万円の減少）となりました。これは主に、短期借入金の純増額８億99百万円等による資金の増加、自己株式の取得による支出５億67百万円、長期借入金の返済による支出２億27百万円及び配当金の支払額96百万円等による資金の減少によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、当中間期連結会計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、2026年５月14日の「2026年３月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に、現時点において変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,392,524	2,033,238
売掛金	5,548,721	7,233,855
商品	1,217,841	1,302,244
原材料及び貯蔵品	500,633	426,588
関係会社短期貸付金	3,500,000	2,250,000
その他	650,555	717,226
貸倒引当金	△178,883	△196,790
流動資産合計	13,631,391	13,766,362
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,063,112	2,001,631
その他（純額）	1,584,175	1,581,294
有形固定資産合計	3,647,288	3,582,926
無形固定資産	215,003	415,209
投資その他の資産		
その他	2,288,316	2,336,821
貸倒引当金	△85,193	△83,877
投資その他の資産合計	2,203,123	2,252,944
固定資産合計	6,065,415	6,251,080
資産合計	19,696,807	20,017,442
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,492,289	960,874
短期借入金	100,000	999,996
１年内返済予定の長期借入金	267,880	40,228
未払法人税等	70,691	325,719
賞与引当金	125,000	162,280
ポイント引当金	92,000	84,000
株主優待引当金	31,005	21,025
資産除去債務	14,848	9,142
その他	1,666,731	1,884,925
流動負債合計	3,860,447	4,488,191
固定負債		
資産除去債務	454,960	450,033
その他	75,310	57,172
固定負債合計	530,270	507,205
負債合計	4,390,718	4,995,397
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,491,360	100,000
資本剰余金	6,473,978	12,865,338
利益剰余金	2,214,867	2,508,083
自己株式	△410,048	△977,417
株主資本合計	14,770,158	14,496,004
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	535,930	526,040
その他の包括利益累計額合計	535,930	526,040
純資産合計	15,306,088	15,022,045
負債純資産合計	19,696,807	20,017,442

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	10,510,275	10,534,698
売上原価	2,632,748	2,617,775
売上総利益	7,877,526	7,916,922
販売費及び一般管理費	7,765,334	7,423,697
営業利益	112,192	493,224
営業外収益		
受取利息	212,845	91,446
助成金収入	73,786	48,872
その他	26,570	31,861
営業外収益合計	313,201	172,180
営業外費用		
支払利息	40,405	12,616
支払手数料	18,054	25,050
その他	14,227	11,734
営業外費用合計	72,687	49,401
経常利益	352,706	616,003
特別利益		
固定資産売却益	7,273	－
受取保険金	521	5,760
特別利益合計	7,794	5,760
特別損失		
減損損失	449	5,700
固定資産除却損	2,837	2,610
災害による損失	－	193
賃貸借契約解約損	902	－
特別損失合計	4,188	8,505
税金等調整前中間純利益	356,312	613,258
法人税、住民税及び事業税	129,540	230,788
法人税等調整額	9,505	△7,277
法人税等合計	139,046	223,510
中間純利益	217,266	389,747
親会社株主に帰属する中間純利益	217,266	389,747

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	217,266	389,747
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	46,668	△9,889
その他の包括利益合計	46,668	△9,889
中間包括利益	263,935	379,858
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	263,935	379,858
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	356,312	613,258
減価償却費	173,380	149,309
減損損失	449	5,700
長期前払費用償却額	7,228	7,464
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△30,221	16,591
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,114	37,280
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△4,000	△8,000
株主優待引当金の増減額（△は減少）	△22,863	△9,979
受取利息	△212,845	△91,446
支払利息	40,405	12,616
助成金収入	△73,786	△48,872
受取保険金	△521	△5,760
有形固定資産売却損益（△は益）	△7,273	－
売上債権の増減額（△は増加）	780,928	△1,684,598
棚卸資産の増減額（△は増加）	331,053	△10,358
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△42,068	△65,352
前払費用の増減額（△は増加）	△15,820	△8,968
未収消費税等の増減額（△は増加）	3,055	△3,053
仕入債務の増減額（△は減少）	△206,189	△531,415
未払金の増減額（△は減少）	△21,688	△93,081
未払費用の増減額（△は減少）	34,466	326,015
前受金の増減額（△は減少）	37,790	△15,404
未払消費税等の増減額（△は減少）	△68,478	△35,873
その他	111,365	△42,520
小計	1,171,793	△1,486,447
利息の受取額	212,256	91,009
利息の支払額	△43,643	△17,331
法人税等の支払額	△277,177	△46,530
法人税等の還付額	－	24,617
保険金の受取額	521	5,760
助成金の受取額	73,786	48,872
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,137,536	△1,380,050
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社貸付けによる支出	－	△150,000
関係会社貸付金の回収による収入	400,000	1,400,000
貸付けによる支出	△4,900,000	△350,000
貸付金の回収による収入	3,750,000	350,000
有形固定資産の取得による支出	△67,311	△40,406
有形固定資産の売却による収入	70,057	－
資産除去債務の履行による支出	△6,299	△3,248
無形固定資産の取得による支出	△22,851	△229,327
差入保証金の差入による支出	△9,771	△11,070
差入保証金の回収による収入	7,529	5,806
その他	△2,728	△2,767
投資活動によるキャッシュ・フロー	△781,374	968,986

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	100,000	899,996
長期借入金の返済による支出	△675,939	△227,652
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△17,623	△17,733
自己株式の取得による支出	△140,880	△567,369
自己株式取得のための預託金増減額（△は増加）	47,097	67,365
配当金の支払額	△99,652	△96,124
株主優待費用による支出	△22,863	△6,704
財務活動によるキャッシュ・フロー	△809,861	51,777
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△453,700	△359,285
現金及び現金同等物の期首残高	2,122,088	2,392,524
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,668,388	2,033,238

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他（注）１	合計
	婦人下着及びその関連事業	マタニティ及びベビー関連事業	婚礼・宴会関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,303,558	492,575	424,261	10,220,395	289,879	10,510,275
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,180	9,926	11,790	22,897	1,873	24,770
計	9,304,738	502,501	436,052	10,243,293	291,752	10,535,046
セグメント利益又は損失（△）	210,885	△6,767	△71,367	132,749	△22,418	110,331

（単位：千円）

	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
売上高		
外部顧客への売上高	－	10,510,275
セグメント間の内部売上高又は振替高	△24,770	－
計	△24,770	10,510,275
セグメント利益又は損失（△）	1,860	112,192

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、美容関連事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額1,860千円には、減価償却の調整額が含まれております。

３．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他（注）１	合計
	婦人下着及びその関連事業	マタニティ及びベビー関連事業	婚礼・宴会関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,338,730	488,535	425,196	10,252,462	282,236	10,534,698
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,000	593	7,492	14,086	－	14,086
計	9,344,730	489,128	432,689	10,266,548	282,236	10,548,785
セグメント利益又は損失（△）	557,712	11,768	△56,533	512,947	△21,354	491,592

（単位：千円）

	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
売上高		
外部顧客への売上高	－	10,534,698
セグメント間の内部売上高又は振替高	△14,086	－
計	△14,086	10,534,698
セグメント利益又は損失（△）	1,631	493,224

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、美容関連事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額1,631千円には、減価償却の調整額が含まれております。

３．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、当中間連結会計期間において、2026年２月25日及び2026年５月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式5,741,700株の取得を行いました。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が567,369千円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が977,417千円となっております。

また、2026年６月24日開催の定時株主総会決議に基づき、2026年８月31日付で減資の効力が発生いたしました。これにより、資本金が6,391,360千円減少し、この減少額全額をその他資本剰余金へ振り替えております。この結果、当中間連結会計期間末において資本金が100,000千円、資本剰余金が12,865,338千円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。